

# 諫早平野は6百年前から干潟、干拓、干潟、干拓を繰り返してきた特異な地域 (50年に一度は干拓)

○ 有明海の潮流は反時計回り

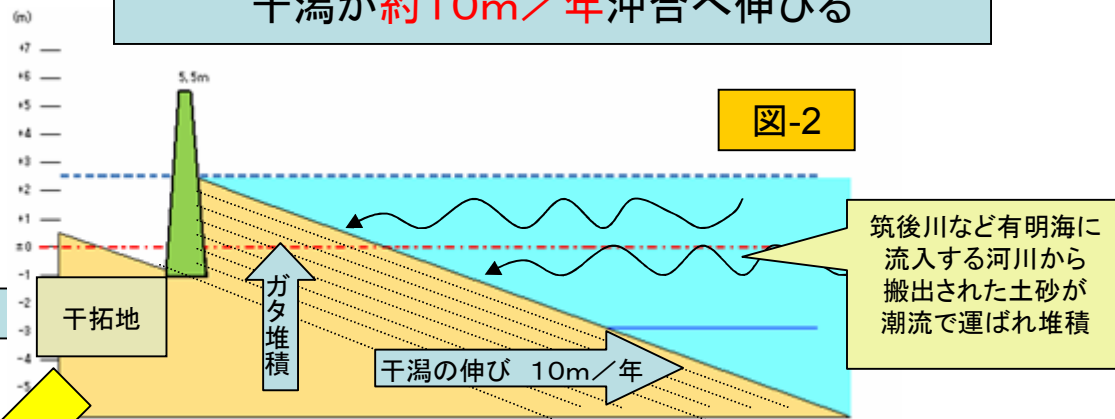
図-1



○ 干潟の形成

ガタ土が5~6cm/年堆積し、  
干潟が約10m/年沖合へ伸びる

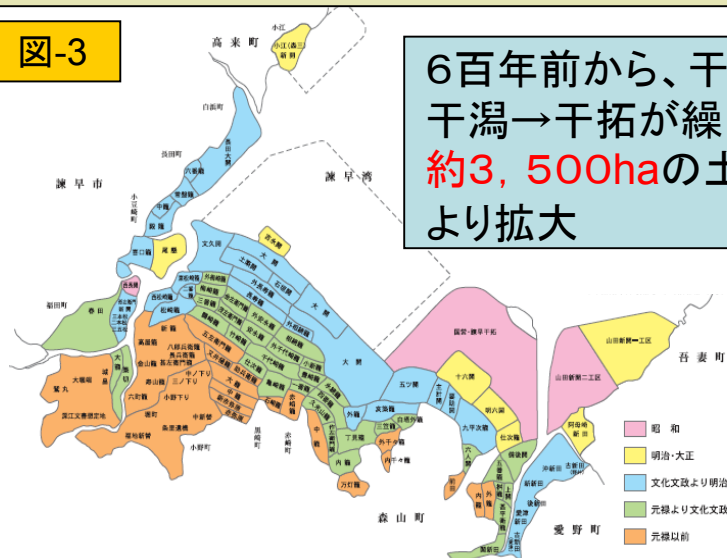
図-2



○ 干拓が繰り返し行われ諫早平野を形成

図-3

6百年前から、干潟→干拓→干潟→干拓が繰り返され、  
約3,500haの土地が干拓により拡大



排水樋門前のガタ土の堆積状況

図-4



堆積したガタ土を人力で除去していた





## 諫早湾周辺は集中豪雨が発生しやすく、台風の通り道という災害を受けやすい地域

- 1 諫早平野は、東シナ海からの湿った風が収束し、集中豪雨を発生しやすい独特の地形です。
- 2 諫早湾沿岸地域は日本に接近・上陸した台風のうち、約5割が接近している台風の通り道で、海岸沿いの低平地は高潮被害に苦しんでいました。

図-1 東シナ海からの湿った風が湿舌となり大雨をもたらす

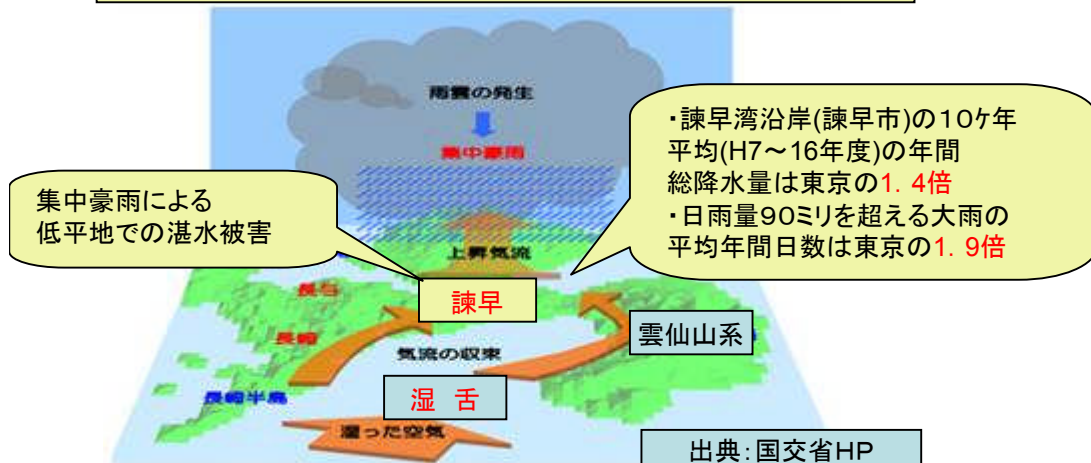


図-2 2004年の日本上陸台風10個のうち5個が諫早に影響

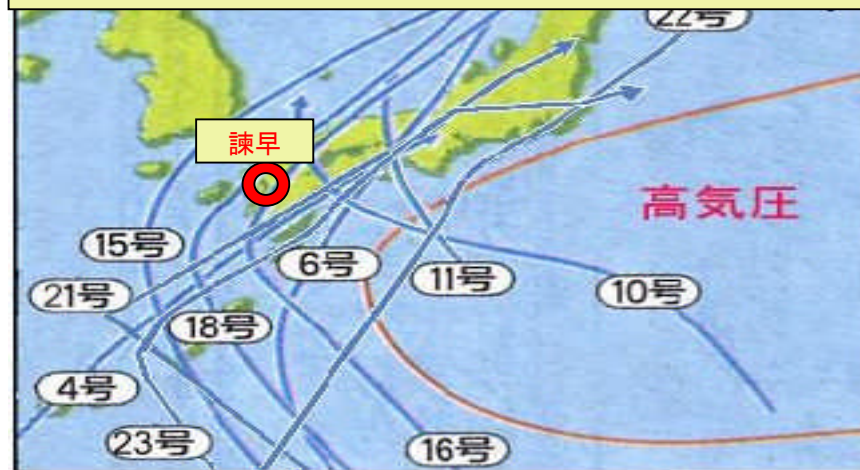


図-3 昭和32年諫早大水害に遭い屋根で救助を待つ住民



図-4 昭和60年8月◎高潮被害(台風13号)の状況(諫早市川内町)

